

2007年11月3日[土・祝]—12月16日[日]

休館日：月曜日

開館時間：午前9時30分—午後5時[入館は午後4時30分まで]

神奈川県立近代美術館 鎌倉

The Museum of Modern Art, Kamakura

主催—神奈川県立近代美術館、京都国立近代美術館、日本経済新聞社

観覧料：一般900(800)円、20歳未満・学生750(650)円、65歳以上450円

*（ ）内は20名以上の団体料金です。

*高校生以下の方、障害者の方はすべて無料です。

日本画変革の先導者
玉村方久斗展



《漁獲図》1943年、(財)脇村奨学会

TAMAMURA Hokuto: Revolutionary of the Japanese Style Painting

大正・昭和に活躍した前衛日本画家、玉村方久斗(善之助)[1893-1951]は、最初、日本美術院に出品し頭角を現わしました。しかし、より新しい日本画の表現を求めて日本美術院を脱退し、さらに「第一作家同盟(D.S.D)」、「三科造形美術協会」、「単位三科」などの前衛運動に身を投じていきます。当時の前衛運動は、ほとんど洋画家たちによって推進されたと言っても過言ではない中であって、玉村方久斗はひとり、前衛的な日本画の世界を切り拓いていきました。この時期、彼は立体造形の前衛的な作品(現存せず)を発表し、さらに前衛的な雑誌『エポック』や『ゲエ・ギムギガム・ブルルル・ギムゲム』の創刊にも関わりました。また、版画の制作も精力的に行なうなど、多彩な創作活動を展開

しています。また一方では、今回80数年ぶりの本格的な公開となる9巻の画巻による大作<雨月物語>(1923-24年)や<保元物語>のシリーズなど、独自のグロテスクで諧謔的な画風で、斬新な日本画を描き続けました。そして、新しい日本画を広めようと自ら「方久斗(ホクト)社」を結成して、同志とともに発表の場をつくり出し、キャッチボールをする親子を描いた<休日>(1931年)のような生活断片を描いた作品や生活感情を重んじた日本画をも制作しました。

本展では、断片的にしか知られてこなかった玉村方久斗(善之助)の芸術の全貌を、約150点の作品と雑誌などの資料を通観することによって明らかにしようというものです。



《劇場の三科》1927年、倉敷市立美術館



《手工卓静物》1943年、京都国立近代美術館



《猫》1928年、京都市美術館

日本画変革の先導者 玉村方久斗展



《春雷山雨将来之図》1943年、京都国立近代美術館



《休日》1931年、京都国立近代美術館



《夢》1918-19年頃、青梅市立美術館



玉村方久斗・略年譜

- 1893年 4月4日、京都市中京区新京極錦天神町に生まれる。本名、善之助。
- 1911年 京都市立美術工芸学校を卒業し、京都市立絵画専門学校に進学。菊池芳文に師事する。
- 1915年 京都市立絵画専門学校を卒業。甲斐荘楠青、入江波光らと日本画研究団体「密栗会」を結成。第2回再興院展に初入選。
- 1916年 東京に移住。大森に住居を定める。
- 1918年 第5回再興院展に<雨月物語(高野・武蔵野・吉野・春日)>を出品し、樗牛賞を受賞。日本美術院々友に推される。
- 1922年 第一作家同盟(D.S.D)を結成。7月、雑誌『エポック』を創刊。未来派美術協会第3回展を「三科インデペンデント展」として開催。
- 1924年 6月、雑誌『ゲエ・ギムギガム・ブルルル・ギムゲム』の発行人となる。9月、第1回玉村善之助(方久斗)個展を開催(東京美術倶楽部)。10月、前衛諸派が集まり、汎三科としての「三科造形美術協会」の結成に参画。
- 1926年 5月、中原実、仲田定之助ら7人の同志で「単位三科」を結成。
- 1927年 6月4-5日、朝日講堂での「劇場の三科」の公演に「瘡の所為でもない」を上演。<劇場の三科>ポスターの原画を描く。
- 1930年 「方久斗社」を創立。9月、第1回方久斗社展を上野・東京府美術館で開催。
- 1935年 9月、方久斗社を解散し、新興美術家協会を結成。
- 1943年 5月、上野・松坂屋で、百九十一番番玉村方久斗個人展を開催。
- 1951年 11月7日、死去。享年58。

■ 講演会

「父・玉村方久斗のこと」玉村豊男(エッセイスト・画家)
日時：11月8日(木)午後1時-2時(開場は午後12時30分)
会場：神奈川県立近代美術館 葉山
講堂(葉山町一色2208-1)
定員70名(申込先着順)、参加費無料
申込方法：参加者の氏名・住所・電話番号・ファクス番号を明記の上、11月1日(木)までにファクスでお申込ください。
申込先：神奈川県立近代美術館「玉村豊男講演会」係
Fax 046-875-2968

■ ギャラリートーク

11月18日(日)、12月2日(日)
各日とも午後2時- (予約不要)

* 会期中展示替があります。

前期11月3日-11月25日、後期11月27日-12月16日

【同時開催】

- 神奈川県立近代美術館 鎌倉別館(Tel.0467-22-7718)
「戦後の日本画」9月29日(土)-12月16日(日)
- 神奈川県立近代美術館 葉山(Tel.046-875-2800)
「イリヤ・カバコフ『世界図鑑』9月15日(土)-11月11日(日)」「プライマリー・フィールド」11月23日(金・祝)-2008年1月14日(月・祝)

【優待のご案内】

「玉村方久斗展」有料観覧券(65歳以上券を除く)の半券をご提示いただきますと、同展会期中に限り、葉山館の展覧会に優待料金でご入場いただけます。

【鎌倉館への交通案内】

- 公共交通機関利用の場合
JR横須賀線・江ノ電「鎌倉」駅下車、徒歩約10分
- 横浜横須賀道路利用の場合
朝比奈インターチェンジから鎌倉霊園を經由して八幡宮へ約4km



神奈川県立近代美術館 鎌倉
〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-1-53
(鶴岡八幡宮境内) Tel.0467-22-5000
<http://www.moma.pref.kanagawa.jp/museum/>

